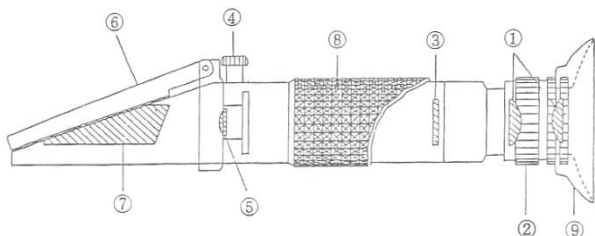


手持屈折計 D型

【形状・構造及び原理等】

1.形状



- ①接眼レンズ
- ②視度調節リング
- ③目盛板
- ④調節ネジ
- ⑤対物レンズ
- ⑥カバー
- ⑦プリズム
- ⑧熱伝導防止カバー
- ⑨アイカバー

2.構造・構成ユニット

- 1)構成
 - ①本体
 - ②付属品(ケース、スポイト、調節用ドライバー、クリーニングクロス)
- 2)装置寸法:全長 160 mm
- 3)装置重量:約 200g

3.原理等

本器は血清・尿などの検査試料の溶質濃度を定量するための屈折計で、血清蛋白濃度目盛・尿比重目盛・液体屈折率目盛の三種が刻まれており、本器プリズム面に検査試料 1～2 滴を滴下し、プリズム面とその上面に広がった試料との境界面における光線の臨界角から屈折率を測ることにより、直接血清蛋白濃度・尿比重が判定できる装置です。

- ①血清蛋白目盛 0～12g/dl
- ②血清蛋白精度 0.2g/dl
- ③尿比重目盛 1.000～1.040
- ④尿比重精度 0.002
- ⑤サンプル量 0.1ml 以上
- ⑥温度範囲 10～40℃

【使用目的又は効果】

ある種の検査試料の溶液濃度を定量するために、溶液の屈折率(光屈折)の測定に用いる検査室用装置である。本装置は血清蛋白濃度及び尿比重を表示します。

【使用方法】

詳細については、取扱説明書を参照して下さい。

- (1) 屈折計の先端を明るい方向に向けて目盛がはっきり見えるまで視度調節リングを回して下さい。

- *2) プリズム面に蒸留水を1～2滴落としてカバーし、明暗の境界線がW線上に一致するよう、付属のドライバーで調節ネジを回して合わせてください。(尿比重の場合は、1.000 線に合わせる。)
- (3) カバーを開けて柔らかい紙や布などで水分をよく拭き取った後、血清(血漿)を1～2滴落とし、カバーをして軽く押さえた後のぞき、明暗の境界線の位置を目盛で読みとれば、それが直ちに血清蛋白濃度を示します。
- (4) 測定後は直ちに水で湿した柔らかい紙や布などで、プリズム面とカバーの内側に付着した血清をよく拭き取って下さい。
- (5) 尿比重測定の場合も尿を同様の操作を行って測定してください。

【使用上の注意】

- (1) 本体を落とす、強い衝撃を与えるなど、無理な力を加えないでください。
- (2) 測定がすんだらプリズム面、カバーのサンプルをよく拭き取ってください。拭き残すと、次のサンプルに混じり込み、測定誤差を生じ併せてプリズム面のヤケが生じやすくなります。
- (3) 検査試料の取り扱いには、ゴム、ビニール手袋等使用してください。
- (4) 取扱説明書に従って、測定前に水により基準合わせを行ってください。
- (5) プリズム面は柔らかいのでキズをつけぬ様に注意してください。

【保管方法及び有効期間等】

- (1) 湿気や直射日光等を避けて、常温、常湿の環境に保管してください。
- (2) 本器を長期間、保管する場合は高温、多湿を避けて保管してください。
- (3) 使用耐用年数:指定した保守点検を実施した場合に7年
[自己認証(当社データ)による]
- (4) 使用環境条件:温度:10～30℃
湿度:30～80%

【保守・点検に係る事項】

屈折計を正しくご使用いただくために、定期的な点検を行ってください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：エルマ販売株式会社
住 所：〒342-0045 埼玉県吉川市木売3丁目4番地8(**)
電 話 番 号：048-984-3138

製 造 業 者：北京天衡機電有限公司本社工場(中国)
住 所：北京市大興区龐各庄镇東黒垓村興開科技園英偉院内